

全国植樹祭 基本構想について

1. 基本構想とは

全国植樹祭の開催にあたり、開催理念や開催内容等の基本的な事項を定めるもの

2. 基本構想の構成（先催県の事例による）

第1章 はじめに

- ・「基本構想」の趣旨
- ・過去の開催状況等

第2章 開催方針

- ・ 植樹祭の開催理念 ← ◎ 基本構想の中で具体的に記載
- ・ 大会テーマ、シンボルマークの選定方法
- ・ 開催候補地 ← ◎ 基本構想の中で具体的に記載
- ・ 開催規模、開催時期 ← ◎ 基本構想の中で具体的に記載
- ・ 企業協賛等

第3章 式典行事

- ・ 式典行事の考え方
- ・ 式典の構成
- ・ 式典の運営方法

※式典行事の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第4章 植樹行事

- ・ 植樹行事の考え方
- ・ 植樹行事の構成

※植樹行事の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第5章 会場整備方針

- ・ 式典会場の整備に関する考え方
- ・ 植樹会場の整備に関する考え方
- ・ 会場へのアクセス等に関すること

※会場整備の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第6章 記念行事・広報等

- ・ 全国植樹祭のメイン会場以外で実施される併催行事の考え方
- ・ 全国植樹祭に先立ち実施される関連行事の考え方
- ・ 広報等に関する基本的な考え方

※記念行事・広報等の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第7章 運営方針

- ・ 大会運営の基本的な考え方
- ・ 大会運営に係る実施組織
- ・ 開催準備スケジュール

先催県における「開催理念」の記載例

年度	開催県	基本構想にある「開催理念」の内容
27	石川県	<u>森林資源を積極的に利活用</u> していく
28	長野県	(1) <u>植えて・育て・利用する「森林・林業のサイクル」</u> を、取り戻そう (2)森林や身近な緑の恩恵を、もう一度見つめ直そう (3)森林と共に生きる人々の思いを、伝えよう
29	富山県	私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、 <u>森づくりと海づくりを一体的にとらえ</u> 、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。
30	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・県民参加の森林もりづくり活動を推進します。 ・本県の復興・発展を加速する原動力とします。 ・<u>海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生</u>を目指します。 ・県内外の多くの方が参加できるようにします。 ・<u>国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島の姿</u>を広く発信します。
31	愛知県	私たちは、 <u>「木材の利用」</u> を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。
32	島根県	<p>本県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県です（森林率：全国第4位）。本県では、古くは、「<u>たたら製鉄</u>」で使用する木炭生産を繰り返すため、森林の循環利用が成立していました。戦後、積極的に造成された人工林が利用期を迎えつつある今、生産される木材を暮らしの中で積極的に利用するとともに、伐採後の森林を植林や天然力を活用して適切に更新することが重要な課題となっています。本県で開催する全国植樹祭では、<u>こうした新たな緑の循環を進める決意を全国にアピール</u>します。</p> <p>また、全国植樹祭の開催を通じて、森林や林業の役割を再認識するとともに、県民参加の森林づくりを拡大する契機とします。</p> <p>併せて、本県の豊かな自然や人々の営みが創り上げてきた文化（古代神話、「出雲大社造営」や「たたら製鉄」における木材利用等）など、本県の特徴や魅力を全国に発信します。</p>

第 7 2 回全国植樹祭に係る開催候補地調査（市町および庁内）

◇調査目的

本調査は、第 7 2 回全国植樹祭を滋賀県で開催するにあたり、式典会場や植樹会場となる「※開催候補地」について、市町および県有施設等を対象に利用可能な施設等を事前に把握することを目的とする。

※「開催候補地」は、式典会場を含む全国植樹祭の主会場となる候補地。開催内定後に設置する全国植樹祭準備委員会の中で候補地選定のための評価基準等を設定し、本調査等で得られた施設等の中から市町および庁内関係課とも調整の上、1箇所選定する予定。

◇開催候補地の選定に係る基本条件

- 開催規模：4,000人以上（県外1,000人、県内3,000人）

※本調査における「開催規模」は、想定される最少人数で設定している。「開催規模」については、今後、準備委員会の中で「開催候補地」と併せて決定される予定。

◇開催候補地の面積要件等

- ① 式典会場：概ね1.0ha以上の広さ
- ② おもてなし広場：概ね0.5ha以上の広さ
- ③ 駐車場：大型バスが概ね200台以上駐車できる広さ
(参加者送迎バス待機場として利用するため、分散配置も可とする。)
- ④ 植樹会場（特別招待者用）：概ね1.0ha以上の広さ
(式典会場に併設する特別招待者用の植樹会場とする。)

※原則として①～④は市町および県有施設とする。

※②～④は、①の隣接地が望ましい。

◇その他の調査項目

- ・ 荒天会場となりうる施設

※荒天会場とは、荒天時に式典会場として利用する施設。概ね2,000人程度の収容を想定。



県内各市町（市町有施設等）および庁内（県有施設）を対象に、上記条件等を基にした開催候補地調査を実施。

- 調査期間：平成29年6月30日～平成29年8月25日
- 調査結果：【資料4-4】のとおり

第72回全国植樹祭に係る開催候補地調査結果

○市町回答分(市町有施設等)

番号	市町名	候補地名	所在地	所有者	式典会場 (ha)	式典会場 の現状
1	甲賀市	鹿深夢の森	甲賀市甲賀町大久保507番地2	甲賀市	1.5	芝生
2	甲賀市	水口スポーツの森	甲賀市水口町北内貴230番地	甲賀市	1.9	人工芝・土
3	長浜市	余呉町菅並地区 (丹生ダム建設予定地の直 下流集落)	長浜市余呉町菅並地区	水資源機構	2.8	土場
4	湖南市	野洲川親水公園	湖南市夏見	湖南市	3.3	芝生
5	東近江市	ひばり公園 (ひばりグラウンド)	東近江市池庄町610番地	東近江市	1.0	土 (グラウンド)
6	多賀町	多賀町立B&G海洋セ ンター	多賀町多賀245-2	多賀町	2.0	土 (グラウンド)
7	多賀町	多賀町富之尾地区	多賀町富之尾371-1	大滝山林組合	1.5	土場
8	多賀町	高取山ふれあい公園	多賀町藤瀬1090-1	多賀町 大滝山林組合	1.5	山林

○庁内回答分(県有施設)

番号	所属名	候補地名	所在地	所有者	式典会場 (ha)	式典会場 の現状
1	モノづくり振興課	陶芸の森	甲賀市信楽町勅旨2188-7	県	1.15	芝生
2	文化振興課	希望が丘文化公園 (芝生ランド)	野洲市北桜978	県	6.7	芝生
3	文化振興課	希望が丘文化公園 (多目的広場)	蒲生郡竜王町薬師1178	県	4.3	芝生

<参考> 荒天会場となりうる施設

○市町回答分(市町有施設等)

甲賀市	あいこうか市民ホール、碧水ホール
長浜市	(仮称)北部地域総合体育館
湖南市	湖南市総合体育館
東近江市	布引運動公園体育館
多賀町	多賀中央公民館、多賀中学校体育館、多賀町立B&G海洋センター体育館・屋内多目的運動場
高島市	今津総合運動公園サンルーフ今津

○庁内回答分(県有施設)

大津市	びわ湖ホール、ウカルちゃんアリーナ(県立体育館)
長浜市	長浜バイオ大学ドーム(県立長浜ドーム)
米原市	文化産業交流会館

※荒天会場とは、荒天時に式典会場として利用する施設。今後、「基本計画」を策定する中で検討していく予定。

開催候補地調査結果(位置図)

